



木更津高専だより

2021
91号
September



1M



1E



1D



1J



1C



専攻科

Contents

校長挨拶	1
新任副校長挨拶	2
定年退職教員挨拶、内地研究終了報告	3
学校行事(新入生歓迎会、新入生研修、STG講習会)、学生の特別表彰者一覧	4~5
高専体育大会結果報告(地区大会・全国大会)、学生の活躍	6
学生の活躍	7~8
新入留学生紹介、新任教員紹介	9~10
お知らせ	11

校長 佐久間 研二

新型コロナウイルスについては、新たな変異株が広がるなど感染拡大が続いている。緊急事態宣言が東京都に発出される中、東京オリンピックが開催され、千葉県にも緊急事態宣言が出されました。感染拡大は止まりません。このような状況の中、本校では幸いなことに今年度前期を無事に終了することができました。しかし、夏休み中に家庭内感染などにより、学生の感染が相次いでおり、部活動等の課外活動は中止せざるを得ない状況で、油断のできない日々が続いています。

学校においてマスクの着用、手指の消毒等の感染対策を徹底してきましたが、家庭内でも油断することなく感染対策を徹底してもらいたいと思います。

学生諸君も、危機的な状況の中、不自由な生活からストレスも多いことでしょう。このような時こそ、木更津高専生として、他の模範となるような行動を取って下さい。一人ひとりの節度ある行動が新型コロナウイルスに打ち克つ鍵であると信じています。

本校は開校以来、施設整備面で画期的な進展期を迎えています。長年の懸案であった雄峰寮の改修工事については、本年度中に完了する予定です。本年度後期については、工事の関係で入寮者数が制限され、退寮をお願いする学生が出てしまいますが、半年間、御辛抱、御理解を頂きたいと存じます。

また、国際寮も新設されます。これにより国際化が一層加速されることでしょう。

今後の木更津高専の発展に御期待下さい。引き続きの御理解、御協力をよろしくお願ひいたします。



● 新任副校長挨拶

学生主事 坂田 洋満(人文学系 教授)

今年度から学生主事を務めることになりました人文学系の坂田洋満です。よろしくお願ひいたします。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、高専大会をはじめ多くの大会や学校行事が中止となり、学生の皆さんにとっては、授業だけでなく課外活動にも大きな影響を及ぼした1年だったと思います。

この1年間の経験をもとに、今年度は感染防止対策を徹底しながら、学生の皆さんの活動を可能な限り実施していくことを目標に対面授業を再開しました。残念ながら感染力の強い変異型ウイルスが現れるなど、コロナの勢いは衰えず、関東信越地区高専大会は多くの種目が中止(あるいは出場辞退)となってしまいました。それでも、コロナ以前の課外活動の形態に概ね戻すことができたのは、学生の皆さん一人一人が日頃の感染対策を徹底してくれたおかげだと思います。ありがとうございました。後期も引き続き、感染対策の徹底をお願いします。

私は、学生指導、特に部活動指導をする際に重視していることがあります。それは、「挨拶、整理整頓、時間厳守」の3つです。挨拶はコミュニケーション能力に、整理整頓は問題を理解して順序立てて解決する力に、時間厳守は人ととの信頼関係構築に繋がるものとして、社会で生きていくために重要な要素だと考えています。高専における5年あるいは7年の間に、学生の皆さんがこれらの力をしっかりと身につけて立派に成長して巣立っていくことを、これからも精一杯応援したいと思います。私は昨年50歳を迎えましたが、まだまだこれから皆さんと一緒に成長し続けたいと思っていますので、充実した高専生活となるよう共に頑張りましょう!



専攻科長 大枝 真一(情報工学科 教授)

今年度、専攻科長、研究促進・知的財産委員長に就任いたしました情報工学科の大枝真一です。

私は「学問ほど面白いものはない」と思っています。新しい学問を作るのは研究活動です。研究活動は、これまでの先行研究を精査し、その中から新しい課題を発見し、これまでに培った知識や技術を駆使して課題解決を試み、成果を公開し、社会貢献を行う創造的で知的な活動です。ただでさえ面白い学問を、専攻科生とさらに2年間一緒に研究活動を行って新しい学問を作ることができるのは高専教員にとって最高の喜びであると思っています。

本校専攻科は平成13年4月に開設され、これまで数多くの優秀な専攻科生を輩出してきました。また、本専攻科は大学改革支援・学位授与機構の特例認定を受け、円滑に学位を授与できるようになりました。今後も専攻科生が楽しみながら研究活動を行い、質の高い研究者、技術者として育成することを念頭に置き、職務を全うできるように尽力したいと思います。



● 定年退職教員挨拶

機械工学科 嘱託教授 高槻 秀雄

再雇用期間を終えて

令和3年(2021年)3月末日で再雇用期間を終了し木更津高専を退職しました。昭和60年に母校に奉職してから36年間にわたり大過なく職責を果たせました。これも多くの方々の助けがあってのことと、ここにお礼申し上げます。

本校着任前は自動車会社に勤めていました。当時の自動車開発力は日本がアジアをリードしていましたが、現在では近隣諸国の技術力も飛躍的に伸びており、今後の競争は熾烈なものとなるように思います。今一度、自動車開発力に限らず各領域での現状を見つめ直す必要があるようにも思えます。

そのような状況下で、多くの企業等において高専への期待が益々高まっています。これは、歴代の教職員・学生の皆様が築き上げた結果だと思います。この伝統を基に、本校が更に飛躍されますようお祈り申し上げます。



内地研究終了報告

人文学系 准教授 武長 玄次郎

令和2年10月1日から令和3年3月31までの6ヶ月間、東京大学史料編纂所の国内研究員として内地研究に従事することができました。指導教員は保谷徹教授、研究テーマは、「近世・近代の土木事業と後世への影響」としました。東京大学の総合図書館と史料編纂所図書室の充実した蔵書を利用することが出来たのは、何より有難いことでした。研究室で貴重な文献を読み、疲れを感じたら近くの三四郎池附近を散策して美しい風景を眺め、新しいエネルギーを日々受け取る毎日でした。近世および近代という時代と生きた人々について調査し、土木事業に関する文献を見ることで生活に根ざした事業の発想の大切さや人々の労苦を改めて感じました。近世・近代の土木事業と技術者については、調査と研究を続けていきたいと思っています。

新型コロナウイルスに加え学内工事もあり、いろいろ難しいところがありました。例えば一度研究室移動で建物が変わりました。総合図書館は閲覧スペースが使えず、立ったまま文献を探していました。ただ、そうしたこととはほとんど気にならなかったです。

内地研究でお世話になった多くの方に、改めて心からお礼を申し上げたいと思います。



東京大学史料編纂所

新入生歓迎会

学生主事補 沢口 義人

入学式翌日の4月6日(火)に、新入生歓迎会を実施しました。この新入生歓迎会は、学生自治活動のための団体である学友会や、各種の部・同好会について、新入生に対して上級生が説明し、人間形成や心身の鍛錬につながる課外活動への参加を呼び掛ける会です。

感染症対策のために、まず各教室で学友会を紹介する動画や部・同好会を紹介する冊子を視聴し、学科ごとに時間差をつけて2つの体育館に移動して、各団体の上級生によるブース展示を見て回りました。ブース展示は昨年度にこのような機会が無かった2年生も対象として、各団体で工夫を凝らした口頭説明や展示・実演がなされていました。

新入生および2年生のみなさんが、この会を契機として各種の活動に参加し、学科学年を越えた人間関係を築き、充実した学生生活を実現してくれることを期待しています。



新入生研修

学生主事補 沢口 義人

新入生のクラス内の仲間づくりを促進するべく、4月17日(土)に新入生研修を実施しました。入学式から10日あまりでまだまだ緊張感が漂う中、クラスごとに「偏愛マップ」と「ブルーシートラリー」に取り組みました。

「偏愛マップ」とは、自分が偏愛するモノやコトを書き綴った1枚の用紙です。2人1組でこの用紙を見せ合い、気になる部分について質問し合って対話を進め、3分程度で組替えしていくことで、クラス内の幅広い人間関係のきっかけ作りができました。

「ブルーシートラリー」は、この研修用に考案されたオリジナル競技です。4人班で四隅を持ったブルーシートでボールをサーブ＆キャッチして、ラリーが続いた回数を競いました。息が合うにつれボールも飛ぶようになり、班内の仲も深まったように見えました。

アンケートでも、仲間づくりが進んだとの回答が多数ありました。ぜひこの調子で、仲良く楽しく力を合わせて学校生活を送ってください。



STG(車両通学学生)講習会

学生主事補 小原 翔馬

5月23日(日)、自動二輪での通学を許可された学生を対象に、交通指導の一環で自動二輪の走行技術向上を目的としたSTG講習会を木更津自動車教習所において実施しました。

講習会は、二輪車の交差点での右折時における注意事項を実際のシーンを再現して確認したり、教習所内での基本走行を起点として、クランク走行・パイロンを用いたスラローム走行・一本橋走行などの応用走行の訓練を行ったりしました。参加した21名の学生は、千葉県警白バイ隊による模範走行や違反車両取り締まり実演等を見て、安全意識を一層高めた様子でした。

今後も本講習会をより一層充実させることで、学生の車両通学時における走行技術の向上はもとより、安全運転の意識向上に努めています。



学生の特別表彰者一覧

次の学生の皆さんには、課外活動および学業において優れた成果を挙げた業績により、特別表彰として、校長より賞状と副賞が授与されました。今年度の表彰式も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者のみで行われました。

【特別表彰を受賞した皆さん】

■ 優秀学生賞

機械工学科	5年 香川詩花
電気電子工学科	5年 平山敦也
電子制御工学科	5年 蝶田依吹
情報工学科	5年 島津康平
環境都市工学科	5年 平間達也

■ 第3回 高専防災コンテスト 高専機構賞受賞

情報工学科	5年 柿崎透真
制御・情報システム工学専攻	1年 飯棲俊介

※特別表彰…担任等からの推薦に基づき、賞罰審査会議において、特に優れた成果を収めた学生に対し表彰をするもの。
(学則第52条)

令和3年度 高等専門学校体育大会の結果

■ 関東信越地区高等専門学校体育大会(開催期間令和3年6月19日~ 8月1日) ※全国大会出場者のみ掲載

バドミントン部	女子団体	1位	
	女子シングルス	1位	C5 松田和菜花
	女子シングルス	2位	C4 森 夏希
	女子ダブルス	1位	C5 小豆澤佳奈 C4 森 夏希

■ 全国高等専門学校体育大会(開催期間:令和3年8月25日~ 9月5日)

陸上競技部	女子総合	4位	27点
	男子100m	4位	D2 羽生虎太郎
	男子200m	7位	D2 羽生虎太郎
	男子走幅跳	4位	C3 中野 孝徳
	女子800m	7位	J4 忍足 優菜
	女子走高跳	1位	E3 佐藤 凜
	女子走幅跳	3位	E3 佐藤 凜
	女子やり投	3位	C5 佐久間妙枝
	女子やり投	4位	C3 佐久間つく紫

学生の活躍

「Fixstars Amplifyハッカソン」にて 最優秀賞を受賞

情報工学科 教授 栗本 育三郎

2021年3月から4月にかけて開催された「Fixstars Amplifyハッカソン」にて、本校情報工学科1年越智優真さんが、東京大学大学院、東京工業大学、早稲田大学の学生を抑えて、「浅(くて広い)層学習少データでお手軽機械学習」アプリケーションを開発し最優秀賞(賞金40万円)を受賞しました。

本ハッカソンでは、「Fixstars Amplify」と呼ばれる数理的な組み合わせ最適化問題を解くためのクラウド基盤を用いたアプリケーション開発を競いました。

越智さんは、米Google、パデュー大学、カナダのD-Waveが報告した量子アニーリングによる機械学習モデル「QBoost」を発展させ、新しい機械学習の手法を提案しました。深層学習の学習部分を組み合わせ最適化問題に置き換えることによって、高精度かつ計算処理が軽い機械学習モデルになりました。



TOKYO STARTUP GATEWAY 2020で 優秀賞を受賞

情報工学科 准教授 米村 恵一

TOKYO STARTUP GATEWAY(TSG) は、技術、ものづくり、ビジネス、など多岐に渡る分野にて若き起業家を輩出するコンテストです。こんな世界を創りたいという情熱を400文字で表現するところからコンテストが始まります。平成26年度から東京都の主催により始まり、これまでの7年間にて、8,000件に届きそうなくらいのビジネスプランがエントリーされました。

令和2年度に開催されたTSG2020では、約1,500件のエントリーの中から、情報工学科の4年生(当時3年生)の原田そらさんが、2020年11月29日にオンライン開催された決勝戦にファイナリストとして選出され、決勝大会でのプレゼンテーションを経て、見事優秀賞を受賞しました。

プランのタイトルは「農業を体験型レジャーとして創り換え、地域の課題を魅力に再定義」というもので、原田さんの地元での原体験から、農業に関わるみなさんの人口の減少により発生し得る活用されていない農地などの農業を営むための資源と、都心部で生活しているみなさんが持つ心の豊かさを養うことができる可能性を秘めている農業体験に触れたいというニーズとを結ぶ場を提供するサービスを提案したものです。

このコンテストの最大の特徴として、コンテストを勝ち抜きながら、すでに起業家として活躍しているメンターさんたちからハイレベルなご指導をいただくことができる点にあります。その際の成長力・行動力も審査項目に入っている印象を受けました。

原田さんは、メンターさんや関係のみなさんからの様々なご指導とご支援を受け、そして努力を続け、成長し、見事優秀賞に輝きました。原田さんが提案したビジネスプランはこの3月から試運転に入っており、私の子供たちも、私の妻も、そして私自身もモニターとして参加させていただいているが、農業とのふれあい、自然とのふれあい、参加されているみなさんとのふれあい、それら全てが充実した心の成長・安定につながっていることを実感しており、本当に素敵なプランだと感激しております。原田さんの今後の活躍、プランのさらなる成長が本当に楽しみな日々を送っている今日この頃なのです。



高専ワイヤレスIoTコンテスト2020で 地域コミュニティ推進大賞を受賞

情報工学科 准教授 米村 恵一

2021年6月4日、総務省が主催する「高専ワイヤレスIoTコンテスト2020(通称:WiCON2020)」にて、電気電子工学科4年菅井太良さん・情報工学科4年齋藤悠希さん、原田そらさん、増田拓己さん、三浦浩哉さん、森翔大さん(採択当時は全員3年生であり最年少採択チームでした)の有志チームが提案した「Project TSUBAME ~地域と高齢者をつなぐデバイス~」が、地域コミュニティ推進大賞を見事受賞しました。

本提案は、2020年4月からの募集において、56件(5G活用部門17件、ワイヤレスIoT活用部門39件)の応募の中から、2020年8月にワイヤレスIoT活用部門にて採択されました(5G活用部門2件、ワイヤレスIoT活用部門8件、の計10件が採択)。採択後、2021年2月までの技術実証期間を経て、2021年3月にレポートを作成、2021年5月に成果発表を行いました。

チーム誕生のきっかけは2019年の台風15号です。高齢化率60%を超える館山市・富崎地区では、災害時、高齢者のみさんの情報入手が極めて難しい状況になっていました。学生達は、高齢者のみなさんが冷蔵庫に貼って使用することができる、電子ペーパーによる「かわら版型IoTデバイス」を開発し、情報を普段の生活において自然に入手できるようにしました。プロトタイプを地区のみなさんに実際に使用してもらい、その有効性を確認し、生の声を聞き、プロジェクトへのフィードバックを試みました。NHKの取材も受けており、関東圏でのTV放送は大きな反響を呼びました。館山市とも連携しながら、災害時だけでなく普段の生活においても確実に情報を入手できる、より便利で使いやすいデバイスへの改良とその普及を目指し活動を続けています。

富崎地区のみなさんも今後の進展を非常に期待しており、良い緊張感をもって、プロジェクトを推進することができています。誰もが当たり前に情報を容易に入手できる世界を目指し、チーム一丸となってこの課題に取り組んでいきます。



全国高等専門学校インフラマネジメントテクノロジーコンテストで優秀賞を受賞

環境都市工学科 教授 青木 優介

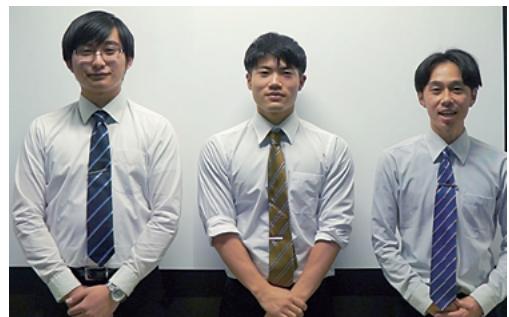
2020年10月から2021年1月にかけて行われました、「第1回全国高等専門学校インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」において、当時本校専攻科環境建設工学専攻2年だった小又寛也さん、榎本拓海さん、横山巧さんの3人で構成されたチームNITKCsが、栄えある優秀賞を受賞しました。

同コンテストは、全国の高専から参加する学生チームが、対象地域を選択し、その地域が抱える課題をインフラマネジメントの観点から解決するアイデアを競うコンテストです。チームNITKCsは、木更津市内で生じる道路冠水の情報(※)を市の公式アプリを用いて発信し、市民の防災教育につなげるアイデアを提案しました。審査委員からは、「導入可能性が高い」「教育ツールとしての活用もよい」「プレゼンテーションが秀逸」などの評価が寄せられ、見事、優秀賞に選出されました。

本校からは他にも、当時環境都市工学科5年の伊沢温さん、園田妃奈子さん、前澤沙耶さん、横田千裕さんの4名で構成されるチームC.Moaiが参加し、街灯の色で避難警告を周知するアイデアを提案しました。同チームも最終審査まで進出し、東日本旅客鉄道株式会社様、古川電工株式会社様から企業賞を受賞しました。

同コンテストへの参加を通じて成長した学生たちの、今後の活躍が期待されます。また、彼ら、彼らに続く挑戦者たちの登場にも大いに期待したいところです。

※木更津市を対象にしたのは本校の所在地であるためであり、木更津市において道路冠水が頻発しているわけではありません。



左から、横山さん、榎本さん、小又さん

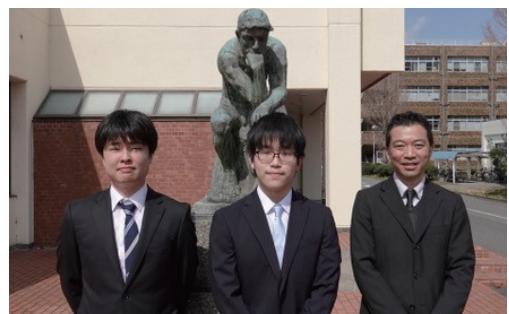
第3回高専防災コンテストで高専機構賞を受賞

情報工学科 教授 大枝 真一

2021年3月15日に行われた第3回高専防災コンテスト最終審査会で木更津高専チーム(当時:情報工学科5年飯棲俊介さん、4年柿崎透真さん、教員 大枝真一教授)が発表を行い、高専機構賞を受賞しました。

高専防災コンテストは日ごろ培っている技術や知識を地域の防災力・減災力向上に役立てる可能性にチャレンジする取り組みです。特に第3回高専防災コンテストでは、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、社会や生活のスタンダードの変化に対応するため、「“New Normal”生活様式に対応する防災」がテーマとなりました。本チームは、AIとIoTを活用し、「避難所における感染危険度算出システムの開発」を行いました。これは、密集状態である避難所において新型コロナウイルスの感染を防ぐ助けとなるように、センサーを搭載したRaspberry PiによってCO₂濃度や室温、湿度、人の会話量などを計測し、感染危険度を算出しました。

コロナ禍ということで3人同時に学校に集まれる機会はほとんどなく、各自で作業を行いました。普段に比べ連絡を取り合うことが難しい中でしたが、Webミーティングや遠隔ツールを駆使して取り組み、高専機構賞という光栄な賞を獲得することができました。コンテスト後も研究活動を継続し、実際に避難所で運用できるようにシステム改良を行っており、今後の活動成果が期待されています。



左から、飯棲さん、柿崎さん、大枝教授

新入留学生紹介

SERGELEN KHASAR

こんにちは。機械工学科3年生のハサルです。今年の6月にモンゴルから木更津に来ました。

木更津高専のみんなに温かい歓迎をしていただきました。

日本語をはじめ、わからないことがまだいっぱいあります。クラスメイトと先生方が優しく説明して手伝ってくれるので嬉しいです。

私はバスケに興味があるのでバスケット部に入りました。でも2年間全然運動しなかったためちょっとだけ走ると疲れてしまいます。諦めないで少しずつ頑張っていけば上手になると思います。

日本語でもっと上手に話せるようになります。たくさんの人々と友達になって楽しい生活を送りたいです。よろしくお願いします。



BALCIUNAS KOSTAS MARTYNAS

電子制御工学科3年のコスタスです。リトアニアから来ました。好きなものは読書と歴史です。

日本史にとって一番不思議な時代は江戸時代だと思います。なぜなら昔の人は自然を汚さないで、太陽エネルギーだけでほぼ250年間、強大な都市を維持することができました。

日本でいろいろなことを学んでから、将来には私も自然を汚さない太陽光エネルギー機器を作りたいです。よろしくお願いします。



MUHAMMAD ASYRAF BIN RAHMAN

環境都市工学科3年のアシュラフ・ラーマンと申します。マレーシアのサバ出身で、マレーシア政府のおかげで、日本に留学することができます。日本のような先進国で勉強する機会を与えられて本当に感謝しています。では、私自身について少しお話します。

小さい頃から、私は楽器を演奏することに興味を持っていて、特にギターを弾くことです。夢は、マレーシアを発展させることができる一員になることです。そのため、日本で学んだ知識、特に技術的な知識を身につけたり、将来マレーシア国民の利益のために活用ていきたいと思います。私は天才ではないので、それは簡単ではありません。

皆さん、これからもよろしくお願いします。お互いに高めあおう!



新任教員紹介

基礎学系 准教授 藤井 翔

令和3年4月に北海道大学大学院理学研究院化学部門より、基礎学系に着任しました。専門は化学で、物質と物質が接する境界線とその周辺の化学や現象に興味をもって研究しています。出身は木更津・君津です。高専生と同じ年代の頃は、地元の学生と学問を共有する立場になるとは全く想像していなかったので、不思議な感覚を覚えます。この年代で触れる学問や仲間と過ごす時間は今後の皆さんの糧となるので、私自身もアップデートしながら先端の化学を共有できるように努めるとともに、課外活動も一緒に楽しみたいと思います。主な趣味はサッカー(観戦)、マラソン(ギリギリ完走できる程度)、登山です。特に、北海道で始めた登山は四季の自然の豊かさ、雄大さ、美しさを感じることができ、自然科学を仕事としている身としては大変勉強になる趣味です。房総も自然豊かですので、新しい視点で巡りたいと思っています。学生にひけをとらず、よく学びよく遊びながら教育・研究活動を楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



機械工学科 助教 松井 翔太

今年度より機械工学科に着任しました。生まれてからずっと関西に住んでいましたので、現在関東とのギャップと日々戦いながら過ごしています。(例:エスカレーターの立ち位置が逆等)

私の専門分野は生産工学で、ものづくりに関する研究をしています。ものづくりというと工場を思い浮かべる人が多いのではないかでしょうか。そして、工場=3K(きつい・汚い・危険)のイメージを持っている人が多いのではないかでしょうか。しかし、近年のものづくり産業は、「インダストリー4.0」と呼ばれる取り組みをおこなっています。インダストリー4.0では、AIやIoT技術といった最先端技術を取り入れた「スマートファクトリー」と言われる工場を目指しており、ものづくり現場も変化してきています。

私は、そのなかでも切削加工時のデータ取得等をおこなっています。以前はデータの取得は有線でしかできなかったのですが、近年では無線で取得することが可能となっています。有線では配線の関係等で取得することができなかった情報が無線では新たに取得できるようになります。このように、今まで分からなかったことが分かるようになるのが研究の楽しさの一つだと私は思っています。皆さんとは、授業や研究、イベント等を通じて仲良くなれていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願ひします。



電子制御工学科 助教 君塚 進

令和3年4月より電子制御工学科に助教として着任致しました。もともと木更津高専の卒業生で、学生時代は機械工学科に籍を置いていました。卒業後は木更津高専の専攻科(機械・電子システム)、電気通信大学(情報理工学研究科)と進学し、博士号を取得して母校である木更津高専に戻ってきたかたちになります。

大学では義手の研究、特に肩義手システムの研究開発を行ってきました。義手とは、上肢の一部もしくは全てを喪失したヒトが、喪失した上肢の外観や運動機能を取り戻すために用いる福祉装具です。中でも肩義手は、肩から手先までの上肢のほぼ全てを失ったヒトのための義手を指します。写真は私が現在研究開発している肩義手です。写真を見て義手に興味を持った人は学科問わず私の教員室を訪ねてくれればと思います。またそうでなくとも、おそらく今現在もっとも皆さんと歳が近い教員の一人だと思いますので、気軽に話に来てくれれば嬉しいです。感染対策を万全にしてお待ちしています(もちろんチャットなどでも構いません)。木更津高専の教員として、またOBとして皆さんのが楽しく実りある学生生活を送るための手助けができれば幸いです。よろしくお願ひいたします。



お知らせ

教職員の異動

■採用・転入

(採用):4月1日

藤井 翔(基礎学系 准教授)

松井 翔太(機械工学科 助教)

君塚 進(電子制御工学科 助教)

(配置換):4月1日

小山 登(事務部長) ← 長野高専

元井 洋一(学生課長) ← 東京高専

芳川 直哉(総務課予算管理係) ← 一関高専

(転入):4月1日

坂元 淳(総務課人事・労務係長) ← 千葉大学

田中 江利(総務課経理係長) ← 千葉大学

■転出・退職

(転出):3月31日

伊藤 龍治(学生課長) → 東京高専

河野 明広(総務課専門員(併任)人事・労務係長) → 千葉大学

矢島 裕子(総務課経理係長) → 千葉大学

山本 美幸(総務課研究協力・地域連携係主任) → 千葉大学

(退職):3月31日

高橋 秀雄(機械工学科 嘴託教授)

荒木 英彦(人文学系 教授)

石川 雅朗(環境都市工学科 教授)

佐合 智弘(基礎学系 准教授)

後藤 勉(事務部長)

行事予定

10/1(金)	後期授業開始
10/2(土)	オープンキャンパス
10/9(土)～10(日)	プログラミングコンテスト(オンライン開催)
10/22(金)	体育祭
10/30(土)～11/7(日)	保護者個別懇談会
10/31(日)	ロボットコンテスト関東甲信越地区大会 (エスフォルタアリーナ八王子)
11/6(土)～7(日)	学園祭
11/13(土)	地区英語弁論大会
11/28(日)	ロボットコンテスト全国大会(両国国技館)
11/29(月)～12/3(金)	後期中間試験
12/23(木)	マラソン大会(雨天中止)
12/25(土)～1/5(水)	冬季休業
1/20(木)	専攻科特別研究発表会
1/21(金)	推薦入試に伴う休業日
1/22(土)～23(日)	英語プレゼンテーションコンテスト
1/23(日)	推薦入学者選抜
1/25(火)	推薦入試に伴う休業日
2/2(水)～8(火)	学年末試験
2/13(日)	学力入学者選抜
2/15(火)	学力入試に伴う休業日
2/18(金)	終業式
2/21(月)～28(月)	補講期間
2/24(木)～28(月)	卒業研究発表会
3/1(火)～31(木)	学年末休業
3/12(土)	進路懇談会
3/18(金)	卒業式・修了式

叙 勲

※敬称略

黒川 章二(名誉教授) 令和3年春の叙勲 瑞宝小綬章

名誉教授

荒木 英彦(人文学系 教授) 令和3年4月1日授与

保健室より



引き続き、新型コロナウイルス感染症に注意が必要です。『新しい生活様式』を取り入れ健康な日常生活を送りましょう。

感染症予防の基本は、正しい手洗いです。石鹼をよく泡立てて、トイレの後、食事の前、調理の前後、外出から帰宅した時など、忘れずに行うようにしましょう。『新型コロナウイルス感染症対策指針【保護者・学生】第4版』の確認を再度お願いいたします。

各自治体により、新型コロナウイルス感染症ワクチンの実施の連絡があると思いますが、各自、メリットとデメリットを十分に理解した上で、ワクチン接種の実施について判断してください。

体調が悪い時には登校を控え、医療機関で診察を受けてください。新型コロナウイルス、インフルエンザ等、感染症に感染している、またはその疑いがあると診断された場合は、公欠(要診断書等)になります。この場合は、必ず学校(木更津高専学生課0438-30-4038)に連絡をお願いします。

※今年度の学校でのインフルエンザ予防接種は、医療スタッフの確保が困難な為、行いません。インフルエンザワクチンを希望する方は、各自で医療機関を受診して受けてください。

学生相談室より



学生相談室(講義棟A1階 保健室隣)は、皆さん一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。相談内容については固く秘密を守りますので安心してください。保護者の方の相談にも対応いたします。

☆学生相談室スタッフとのカウンセリング方法について

カウンセラーへの相談は予約制です。相談内容によっては、より適切な機関(専門医)への紹介も可能です。

予約先(保健室):0438-30-4036 / soudan@a.kisarazu.ac.jp

対面が原則ですが、ご希望や状況に応じて、電話、ビデオ通話、メールなどの対応も可能です。

■ 担当カウンセラー

■ 開室時間

坂本 容子 先生	月曜日	12時～17時
水口 勲 先生	水曜日	12時～17時
精神科医 の先生	水曜日(月1回)	17時～19時
愛甲 修子 先生	火曜日	10時～17時
	水曜日(月1回)	17時～20時
	木曜日	13時～17時
	金曜日	13時～18時

※1 ■ スクールソーシャルワーカー

小幡 朋子 先生 金曜日(月1回) 13時～17時

■ その他相談室スタッフ

山下 哲(学生相談室長) 月～金 随時

田村 真弓(看護師) 月～金 随時

森野 加奈(看護師) 月～金 隨時

※2 白木 玲子(事務補佐員) 月～金

※1 今年からスクールソーシャルワーカー小幡朋子先生が来校されます!

先生から一言!生活の中で、心配や不安なことがありましたら、相談ください。種々の支援機関と繋がることで楽になれるかもしれません。一緒に考えていきましょう。

● 相談内容等:経済的な問題、ご家庭・ご家族のことなど

● 令和3年度勤務日(予定)

10月15日、11月19日、12月17日、1月28日、2月25日

※2 5月事務補佐員が配置されました!一言!

白木 玲子さん:皆さんが安全安心に過ごせるよう保健室でお待ちしています。



☆学生相談室の感染対策について(対面時)※ご協力よろしくお願いします。

相談者およびカウンセラーの検温および体調確認、マスク着用、手指消毒、アクリル板の設置

ロボコン2021

競技課題:『超絶機巧(すごロボ)』

○関東甲信越地区大会

■ 開催日:10月31日(日) ■ 会場:エスフォルタアリーナ八王子

○全国大会

■ 開催日:11月28日(日) ■ 会場:両国国技館



独立行政法人国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校
ホームページ <https://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第91号 令和3年9月発行

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

☎0438-30-4000